

令和4年6月28日研究公開報告

令和2～4度大隅地区研究協力校研究公開

志布志市立宇都中学校で

「キャリア教育」についての研究公開が開催されました。

令和4年6月28日（火）に志布志市立宇都中学校で、大隅地区研究協力校「キャリア教育」の研究公開が行われました。宇都中は、令和2年度から3年間、総合的な学習の時間を中心に研究を進めてきました。研究主題は「一人一人の可能性を信じ確かな成長につながるキャリア教育～自己の生き方を見つめ、目的意識をもって、夢実現に向けて努力する生徒の育成をめざして～」です。

当日は、全体・授業会場である体育館に、「夢」をテーマに掲げたスローガンやこれまでの研究・授業によって作成された様々な成果物が展示され、生徒たちの輝かしい未来が想像できる程、大変充実していました。小中連携の重要性や家庭・地域の協力も伝わるとても素晴らしい研究公開でした。



【閉会のあいさつ】
立和田 俊郎
校長先生

【研究発表】

「夢」の詩から始まるプレゼンテーションで研修係の山元先生が、3年間の研究の成果を発表されました。宇都中は、「基礎的・汎用的能力」を重視し、将来の確かな目標設定、小中連携によるキャリアパスポート等を活用した系統的な指導法、キャリア発達の変容に気付かせる評価、保護者のキャリア教育の意識高揚を図る取組等を研究してきました。実践として、職業講話や企業ワークショップ、職業体験学習、修学旅行における職業インタビュー、高校へのPTA研修視察等、多岐に渡って紹介がありました。



【研究発表の様子】

【公開授業：総合的な学習の時間】 題材名「働くこと・そして生きること 身近な職業について知る」

（第2学年・第3学年）



【公開授業の様子】

本時では、職業について調べたことを発表したり聞いたりする中で、職業の種類やその職業に関する適正・能力を理解し、これからの自分の生き方についての考えをもつことをねらいとしました。6班に分かれて発表活動が行われ、各先生方が称賛や指導を個に応じた丁寧に行っていました。生徒たちは調べたことをまとめた発表したりする際に、ICTを効果的に活用して、そのスキルの高さも披露しました。ゲストティーチャーとして、3年生と会社経営者（保護者）を招聘し、職場体験学習や社会で求められる人材について具体的に語っていただくことも大変有意義でした。将来の目標実現に向けて作成した「宣言文」からは、生徒一人一人が学びを基に感じた働く姿勢や仕事への思い、更に仕事を通じた生き方について考える様子が、伝わってきました。将来への目標がより明確になるという大きな成果が見られた授業でした。

【授業研究】

キャリア教育の公開に初めて参加された方が多く、中学校のみならず小学校の先生方からも質問や感想が多く寄せられました。自分の将来についてテーマをもち、自己を見つめ大きく成長していく生徒たちの様子、小学校からのキャリアパスポートの大切さ、先生方の素晴らしいチームワーク等について、称賛の声が多い授業研究になりました。

【授業研究の様子】



【展示された作成物】